日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	サウンドエンジニアリング1
科目基礎情報				
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期 前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	1単位	授業形態	実習	
教科書/教材	教科書は使用しない。参考資料等は、授業中に指示する。			
担当教員情報				
担当教員	永田	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的				
<p>学生各自がサウンドクリエイターとして、クライアントからの様々な要求に、スピーディーかつ柔軟に対応できるスキルを身につけることを目的とする。そのために業界標準のDAWソフト「Cubase」を用いて、テーマ性を持たせたインストゥルメンタル（BGM系）の作品制作作業を主とし、最短時間でクオリティの高い作品を制作するためのさまざまなTIPSを学ぶ。</p> <p>学内、学外イベント向けに、他学科とのコラボレーションにより様々な形態の楽曲を制作することで、サウンドクリエイターとして必要な能力を身につけることを目的とする。</p>				
到達目標				
<p>講師が指定するテーマ、ジャンルの作品を素早く、高いクオリティで制作できることを到達目標とする。そのために、ダンス系打ち込みサウンド、生演奏系サウンド、民族音楽等、様々なジャンルにおける使用楽器とその知識、アレンジ技法、打ち込みのコツを身につけ、ショートカット、使用音色の把握等による素早いCubaseが操作を習得する。制作に必要な音楽知識の学習、ジャンル毎のミックススキルの習得により、クオリティの高い作品の提出と発表を目指す。学内、学外イベント向けの楽曲制作において、クライアントとしての他学科からの様々な要求に、スピーディーかつ柔軟に対応できることを目標とする。</p>				
教育方法等				
授業概要	<p>学生各自がCubaseを使用し、講師指定のテーマやジャンルに向けた楽曲制作をし、講師は作品のクオリティと操作スキルを上げるべく個別に指導する。定期的な授業内発表をプレゼンテーション形式でおこない、作品を人前で発表するとはどういうことかを体感するとともに、社会人としての人間力も身につける。適宜、音楽知識、制作技術、ミックス技術、弱点補強の講義もおこなう。学内、学外イベント用にに向けた制作もおこなっていく。</p>			
注意点	<p>キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。USBメモリー、ヘッドフォン、変換アダプター、ノート、五線譜を持参すること。学生個人が所有するPC、スマートフォン、タブレットを用いた学習を行う際はその使用を適宜許可する。</p>			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験	10%	試験と課題を総合的に評価する。	
	授業内発表	10%	授業時間内におこなう試験会、内容について評価する。	
	提出物	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する。	
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	Cubaseの使い方	DAWソフト「Cubase」の基本的な操作法を習得する。		
2回	ジャンルによる使用楽器(1)	ダンス系、バンド系サウンドにはどのような楽器、音色が使われているかを理解できる。		
3回	ジャンルによるアレンジ技法(1)	ダンス系、バンド系サウンドにはどのようなアレンジ技法が使われているかを理解できる。		
4回	ダンス系サウンドの楽曲制作(1)	使用音色を選び、モチーフを作ることが出来る。		
5回	ダンス系サウンドの楽曲制作(2)	モチーフをきっかけとして曲の骨組みを作ることが出来る。		
6回	ダンス系サウンドの楽曲制作(3)	骨組みからアレンジを詰めてゆくことが出来る。		
7回	ダンス系サウンドの楽曲制作(4)	ブラッシュアップとミックスを行い、作品を提出できる。		
8回	完成曲の授業内発表	完成曲を学生全員で聞き、講師が個別にアドバイスをを行い、講評することが出来る。		
9回	弱点補強の講義	授業内発表をもとに、弱点補強のためのアイデアを学び反映できる。		
10回	生演奏系サウンドの楽曲制作1	使用音色を選び、モチーフを作ることが出来る。		
11回	生演奏系サウンドの楽曲制作2	モチーフをきっかけとして曲の骨組みを作ることが出来る。		
12回	生演奏系サウンドの楽曲制作3	骨組みからアレンジを詰めてゆくことが出来る。		
13回	生演奏系サウンドの楽曲制作4	ブラッシュアップとミックスを行い、時間内に作品を提出することが出来る。		
14回	完成曲の授業内発表	完成曲を学生全員で聞き、講師が個別にアドバイスをを行い、講評することが出来る。		
15回	弱点補強の講義	授業内発表をもとに、弱点補強のためのアイデアを学び、今後に役立てることが出来る。		